

5. ソフトボール競技

- 1 期 日 令和4年7月15日(土)・17日(月)・予備日8月11日(金)
- 2 会 場 笠松運動公園 野球場
- 3 競技種別 (1) 男子(小学男子)
(2) 女子(小学女子)
- 4 参加資格 (1) 令和5年度茨城県スポーツ少年団の登録団員・指導者であること。
(2) チームは、単位団で編成し、選抜、補強チームは認めない。
(3) 参加者は必ず令和5年度スポーツ安全保険に加入済みの者であること。
(4) 引率責任者、代表指導者及び指導者のうち2名以上は、「“少年団の理念を学んだ”JSP0公認指導者資格保有者」であること。
- 5 出場チーム (1) 出場チームは、各単位団男・女1チームとする。
(2) チーム編成は、引率責任者1名、代表指導者1名、指導者1～2名、スコアラー1名、選手25名以内とする。ただし男子チームには常時3名以内の女子選手の出場を認める。
- 6 競技方法 (1) 2023年度オフィシャルソフトボールルールによるトーナメント方式とする。他、次の通り特別ルールを設ける。
(2) 時間制限を採用し、試合開始後70分を過ぎて新しいイニングに入らない。
7回を終了して同点の時は直ちにタイブレークにより勝敗を決するが、70分を経過して同点の時は終了時のプレイヤー9人による抽選で勝敗を決する。
(3) 得点差コールドゲームを適用し、3回15点、4回10点、5回以降7点差とする。
(4) コーチーズボックスに入る者は、必ずヘルメットを使用しなければいけない。
(5) 試合球は、ゴム製検定球2号「男子：ナガセケンコー、女子：内外ゴム製」とする。
(6) 組合せは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県ソフトボール協会事務局で行い決定する。
- 7 申込方法 (1) 出場チームは、所定の様式により各市町村スポーツ少年団へ申込むこと。
(2) 各市町村スポーツ少年団は、申込書及び単位団名簿をメールにて、下記へ提出すること。
〈提出先〉公益財団法人茨城県スポーツ協会 茨城県スポーツ少年団
E-mail: ibaraki.sposyo@gmail.com
〈締切り〉令和5年6月2日(金)必着
- 8 指導者会議 日時・場所 大会案内の時にお知らせします。
代表指導者又は指導者は必ず出席すること。(実施要項を必ず持参すること)
出席しないチームは原則として棄権とする。
- 9 表 彰 優勝・準優勝・第3位(2チーム)のチームには賞状を授与する。
- 10 その他 (1) 選手の試合中の傷害については、主催者は責任を負わない。

- (2) 健康診断は、各単位団の責任において実施すること。また、各単位団において救急箱等、応急処置のできるものを用意すること。
- (3) 参加については、必ず保護者の承諾を得ること。
- (4) ユニフォームは同一のものを着用し（但し、スパイクの色は自由とする。）、必ず背番号・胸番号をつけること。代表指導者 30・指導者 31、32・主将 10・他のプレイヤーは 1 番～99 番までの番号とする。数字の大きさは、背中は 15cm 以上、胸は 6 cm 以上 12cm 以下とする。
- (5) 金属製のスパイクの使用は禁止する。
- (6) 打者・走者並びにベースコーチは両耳当のあるヘルメットを着用する。
- (7) 捕手は危険防止のため男・女ともヘルメット・スロートガード付マスク・ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用しなければならない。
- (8) その他詳細については、指導者会議で決定する。

11 競技に関する問い合わせ

(荒天時の問い合わせも含む)

小雨決行、雨天時の問い合わせ先（6：00 態度決定）

☎090-4133-8603 前田 孝通（茨城県ソフトボール協会 普及委員長）

☎090-1667-5929 山田 隆（茨城県ソフトボール協会 小学生委員長）

競技上の注意

1. 競技規則及び方法は、(公財)日本ソフトボール協会 2023 年度オフィシャルソフトボールによる、トーナメント戦方式とする。
2. ゲームは7イニングとし、勝敗の決しない場合は、タイブレークにより決する。但し、試合時間が70分を経過後は新しいイニングには入らない。70分経過後、同点の場合は終了時のプレイヤー9人による抽選で勝敗を決する。
3. プレイヤーの集合時間は、試合開始予定時刻の30分前までか、前の試合の4回終了時までで当該球場に集合する。
コインの表裏の選択は、先着(打順表持参)チームに優先権を与える。
4. 打順表の記入と提出については、試合開始予定時刻30分前、または前の試合の4回終了時に、あらかじめ配付された打順表(5枚1組)にすべての必要事項を記入し、当該グラウンドの審判員に提出する。審判・記録員の照合確認後に審判員より受け取る。
5. 攻守順は、打順表提出の時に審判員立ち会いのもと「コイントス」によって決定する。コインの表裏選択は、先着(打順表)チームに優先権を与える。
6. ベンチは組合せ番号の若いチームを1塁側とする、ベンチの中に入れる人員は、登録された引率責任者・代表指導者・指導者2名・スコアラー・トレーナー・選手25名の計31名以内とする。
7. フィールドイングは、ベンチに入ることを許されたユニフォームを着用した監督・コーチ・プレイヤーで行わなくてはならない。フィールドイングは後攻チームより5分間とする。
8. バット・ヘルメットは、試合前に検認する。規格外用具は試合終了まで当該球場で預かる。
9. 試合球は男女とも検定球2号とする。
10. ヘルメットは打者、打者走者、次打者は両耳当のあるものを着用する。1・3塁ベースコーチも必ず着用すること。
11. 捕手は危険防止のため、捕手用ヘルメット・スロートガード付きマスク・ボディプロテクター及び両足に膝当て付きレガースを着用しなければならない。また、準備投球及びベンチ等での投球練習のときも、捕手または代理者はスロートガード付マスクを必ず着用すること。
12. 競技開始については、審判員がネット前に整列したなら、両チームの選手はベンチ前に整列、審判員の「集合」の合図によりホームプレート前かけ足で整列する。
13. 攻守交替はかけ足で敏速に行い、守備交替時にボールは投手板近くに置く。(雨天時及び終了時は審判員に手渡す)
14. 抗議は、審判員の判断にもとづく判定に対しては許されない。但し、ルール上の疑義等については、監督に限りこれをただすことができる。
15. 試合開始時刻及び球場等は、状況により変更する場合がある。
16. 応援は品位をけがさぬよう、卑劣なヤジ等は禁止する。なお、投手がセット(投球準備)に入ったら応援等は行わないこと。
17. 「事故防止ゾーン」を設置するので、応援等で立ち入らないこと。